



牛
議
会
だ
よ
り

し せ ん

第74号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 株式会社 鹿島美牛



令和4年8月牛せいの様子

(令和4年8月3日)

令和4年 第2回定例会

一般質問



美島 盛秀 議員

新型コロナウイルス対策について

問

伊仙町でも新型コロナウイルス感染症クラスターが発生したが、原因とその対策は十分であったか問う。

答

(社会教育課長補佐)

発生原因について、伊仙町でスポーツイベントが開催され、島外からの参加もあった中、天候が悪かったこともあり、換気が不十分であったこと、昼食時分散する予定であったが、屋内のみになったことが発

生につながったと認識している。

今後の対策として、都度利用者へは窓、暗幕の全開放での利用、入館時や利用時の定期的な手指の消毒の徹底、入館時の体温チェック、氏名の記入の徹底、スポーツ実施時以外でのマスク着用の呼びかけを行う。また、イベントや大会等での利用については、申請時にコロナ感染症対策チェックリストの記入、イベント要綱、コロナ感染症対策要綱を併せて提出してもらい、教育委員会、町執行部と協議した上、貸出許可を行うものとする。

問

コロナ感染が収まらぬ中、町外への出張が多いがその必要性について問う。

(町長)

答

営業活動や、国県を代表している。極力オンライン会議等を利用し、解消してきているところである。今後は更に危機意識を高め、出張の可否を判断していきたいと考えている。



町内でワクチン接種をおこなっている伊仙クリニック

職員の規範向上の取り組みについて

問

公務員として規範は絶対的な遵守義務であり、綱紀粛正に繋げる道徳的観点であると考えるが、役場内では職場の異動の希望、退職、体調不良で休職や入院、このような職員がいると聞くがこの現状を町長はどう認識されているのか問う。

(町長)

答

仕事量が多くなり、それに耐えきれず鬱状態になる職員も出てきているのは確かであり、業務においてもパソコン上でのやり取りが多く、人間関係が希薄してきている。今後、職員間の協力体制を強化し、若い職員もはつらつと仕事に専念できるような環境造りをしていきたいと考えている。

(教育長)

道徳は非常に大事だと考えている。学校では、道徳は教科として指導、評価することとなっており、徳之島

の格言や方言等の資料を作成し、郷土教育を行うよう指導を行っているところである。

要望

精神的な問題や指導的が起これないよう、職員との信頼関係をしっかりと築き上げ、ケアに努めていきたい。



役場庁舎



久保 量 議員

農業における経費高騰対策について

問

畜産農家においては、これまでの子牛価格の高止まりもあり、農家の母牛群における産子の進んだ高齢牛の比率が高くなっており、こうした母牛からの産子は価格が低く経営悪化に拍車をかけている。しかし、母牛の更新には多大な経費とその間の収入が無くなるため、大きな障壁となる。母牛の更新が円滑に行えない農家においては、持続可能な経営が困難となっていくことから、この問題を解決するために過去、国の事業で行われていたような生産牛の更新事業を行うことにより子牛の商品性向上による所得向上による経営の安定を図る

施策を講じることができないのか問う。

(経済課長)

答

現在、母牛の更新について行っている事業は、繁殖雌牛の導入や自己保留に対して優良素牛保留事業により支援を行っている。この事業については、令和元年度までは1,000万円の中で農家に按分して支出を行っていたが、令和2年度から事業を拡充し、2,000万円超の支出となっており、町有牛や農協牛など合わせて支援を行っている。

また、生産基盤拡大加速化事業を活用して、JAの事業実施により増頭実績に応じた奨励金の支出などを行っており、商品性の向上についても、監視カメラや牛温計の導入支援により、使用管理の徹底、並びに事故件数の低下を図っている。



問

農業全般において肥料価格高騰は共通した懸念事項であると思われるが、サトウキビの増産によるハカマやバカスの産出量の増大と、畜産におけるバカスの敷料利用促進のための助成による子牛の品質向上と併せて敷料利用促進による牛糞の排出量増大を軸に、堆肥センターをフル活用した堆肥の生産を行うために見合った重機等の施設整備や、こういった時だからこそ、現在行われている堆肥助成事業の補助率や事業量の拡充で堆肥利用を促し、地力向上による化学肥料の使用量削減で所得向上と更なる積

極的な堆肥利用を行う農業の浸透が期待できるような取り組みを行う計画がないのか問う。

(経済課長)

答

伊仙町において、今季のサトウキビ収穫量は昨季に比べ減少したものの、回復傾向にある。畜産についても増頭が続いており、ハカマやバカス、牛糞の排出量は増加するもの

と考えられる。この排出物を有効利用するためにも、堆肥センターの活用が非常に重要だと認識している。また直近では肥料の価格高騰も深刻な問題となっており、堆肥の需要が急激に高まるのが全国的にも予想される。そのため、堆肥の製造量を増やすためにも、必要となる重機などの整備については急務であると考えている。



伊仙町堆肥センター (古里)



大河 善市 議員

コロナウイルス感染関連について

問 今年度の各種行事予定及び今後のコロナ感染状況での実施判断をどう考えているか各課に問う。

(きゅらまち観光課長)

答 ほーらい祭りについては、先月実行委員会を開催し、国の行動制限緩和、イベント開催の制限緩和等により11月3日の開催予定である。実施の判断については、直近のコロナウイルス感染状況や国及び県のイベント開催時のガイドライン等を確認し、総合的に勘案し判断したいと考えている。



ほーらい祭りの様子

(経済課長)

11月23日に産業祭・食の文化祭を予定しており、コロナウイルス感染状況を考慮し、感染対策を徹底した上で開催する計画を進めている。

(社会教育課長補佐)

各種スポーツ大会・町民体育祭・駅伝大会等がありますが、開催する予定で進めているが、今後のコロナウイルス感染状況によって、各団体の実行委員会等

で検討し、実施、延期、中止の判断を行いたいと考えている。



3年ぶりに開催予定の町民体育祭

問

成人式の開催については徳之島三町の話し合いを行い、統一した考えで計画されているのか、また、伊仙町は今年町政施行60周年の節目の年でもあり、町民体育祭の開催を期待するが、実施に向けての考えを問う。

(総務課長)

答 成人式については、昨年は3町の教育委員会部局で協議を行ったところではあるが、各町の行事及び施設利用等については、各町の判断で決定することとなっている。

(社会教育課長補佐)

町民体育祭については、各種団体と協議の上、実施する方向で進めて行きたいと考えている。

農業支援等について

問

さとうきび・畜産・園芸の農家へ肥料・飼料・資材・燃料等の高騰で農家経営を圧迫している現状での支援策について問う。

(経済課長)

答 肥料・配合飼料・燃料等の高騰については、国の補正予算や予備費で様々な対策が講じられており、肥料等の高騰は一過性の問題ではないために、今後も国・県の動向に注視

しながらしかるべき時期に事業実施が出来るよう進めているところである。



夏植え出発式の様子

問

堆肥センターの今年度の堆肥供給及び畜産農家へのバカス供給について問う。

(経済課長)

答 堆肥センターの今年度の堆肥の製造は、1,000tを計画している。また、バカスの供給については、直接引き取りに來られたら引き渡しができる状態であり、10tダンプで進入可能な牛舎については配達を行っているところである。



議員 清 平二

新型コロナウイルス感染対策について

問 伊仙町において新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策について問う。

答 (健康増進課長)

防災無線やホームページなどで、感染状況や感染対策の情報提供を行い、意識啓発をしていきたい。また、コロナワクチン接種を推進しており、感染拡大の防止に努めていきたい。

問

PCR検査等は、現在ほとんど実施できていないため、医療機関の協力を得て、いつでも検査等ができるようになるのか問う。

答 (総務課長)

現在、検査機構と契約を交わしているところであり、これは、病院ではなく、施設の中で検体を採取した後、搬送して結果を見るというものであり、これが導入されれば休日も関係なく検査できる状態になると考えている。

問 検査料金は、積立基金を利用し無料化できないかを問う。

答 (総務課長)

自己負担になった分に関しては、返納するような取り組みを進めていきたい。

タブレット等の計画について

問 今後はタブレット等を利用し、紙媒体から電子媒体への計画について問う。

答 (未来創生課長)

ペーパーレス化を実現することにより経費の削減、データの管理の一元化と情報漏えい対策、

資料の検索性の向上、ひいてはSDGsの地球環境への負担軽減が図られるなど多くのメリットが得られるものと考えている。また、国が新しい資本主義の実現ということとデジタル田園都市構想を進めており、地方からデジタル化を進めることによつて首都圏との格差をなくそうという動きがあり、我々はサテライトオフィスとか企業誘致もその一環である。本町においては電子化に関する計画については、今現在、初期段階ではあるが、検討を行っており、業務効率と重要度に応じて段階的に電子化を進めていきたい。



各学校へ導入されたタブレット

新型コロナウイルス感染対応に対し議員発議!!

令和4年第2回伊仙町議会定例会において (令和4年6月9日)

新型コロナウイルス感染者等へ対し、早急な救済措置を求める決議書を提出いたしました。

4月から徳之島島内における新型コロナウイルス感染者は、増加の一途をたどり、いまだ収束の目途が立たない状況となっています。コロナ感染し自宅療養をされた方々をはじめ、濃厚接触者となり自宅待機を余儀なくされたことにより、仕事へ行けず生活に支障を来している町民への支援は不可欠であり、以下のとおり早急な救済措置を講じるよう議会として求めたものであります。

1. 庁舎内において、新型コロナ感染症全般に関する専用の相談窓口を設置し、専属職員を配置したうえで、心のケアや国の救済事業等の案内及び申請手続き等支援の実施をすること。
2. 新型コロナ感染者が発生した世帯への一律現金給付を実施し、生活困窮者への早急な経済的支援を行うこと。

令和4年第4回伊仙町議会臨時会において (令和4年7月15日)

1. 相談窓口が設置されました。
2. 伊仙町民一人当たり商品券1万5,000円分の補正予算が生まれ、議決されました。



あなたの声が地域を変える

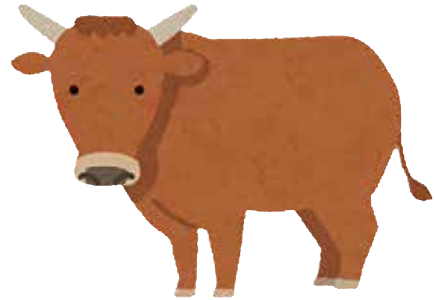
町民の声

インタビュアー 久保 量議員

今回は、合同会社元山畜産代表 元山雅喜さん（喜念）にお話を伺って参りました。



元山さんは、平成17年より地元である伊仙町へUターンされ、人工受精師を行う傍ら、畜産業を営んでいます。令和元年に国の事業を活用し草地整備及び現在の牛舎を整備されており、その後、令和3年10月に合同会社元山畜産を設立し、従業員2名を雇用。現在、繁殖牛90頭、育成牛5頭を飼育しています。



Q1 世界情勢の影響により、様々な物資や原料が高騰している中、工夫していることはありますか？

A

現在、子牛セリ価格の下落が続いており大変ではありますが、粗飼料の購入を減らし、自家生産で行うようにしています。また、自家製の堆肥を散布し、化学肥料の使用を抑えることでコスト削減するよう工夫しています。



Q2 牛の飼育をする中で気を付けていることはありますか？

A

親牛に牛温恵（分娩・発情監視通報システム）の装着や、牛舎に監視カメラを設置し、お産時の事故を減らすように気を付けています。また、病気の早期発見、早期治療に努めています。

Q3 行政に対し要望はありますか？

A

私自身が現在の堆肥センターの運営に携わっていますが、少頭農家には堆肥場や重機等が無く、野積み状態の牛舎もあります。そのため、堆肥場整備の助成を行うことによって野積みも解消されるし、行政が農家への適正な堆肥作りを指導することによって良質な土づくりができると思います。



議会の動き

令和4年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)

動静期間: 令和4年第1回定例会(3月19日)以降の分

※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
令和4年 3月	21日	徳之島-鹿児島線就航60周年記念セレモニー	徳之島子宝空港	令和4年 5月	3日	進藤金日子参議院議員国政報告会	徳之島町
	27日	徳之島3カ町世界自然遺産登録記念講演会	ほーらい館		3日	今井絵里子参議院議員との懇親会	徳之島町
	30日	令和4年第2回臨時会	議事堂		4日	塩田県知事との昼食会	みらい館
令和4年 4月	7日	第54回 戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭	犬田布岬		10日	第63回奄美群島市町村議会議員大会	奄美市
	8日	議会議長・事務局長合同会	奄美市		16日	県離島振興町村議会議長研修会	鹿児島市
	14日	徳之島地区防犯協議会監査	徳之島警察署		17日	県町村議会議長会臨時総会・議員研修会	鹿児島市
	18日	サテライトオフィスオープンセレモニー	旧農業高校4階		24日	令和4年度奄美総合調査に係る奄美選出県議会議員・市町村長・議会議長意見交換会	奄美市
	18日	前里屋敷オープンセレモニー	阿権前里屋敷		25日	各種協議会総会	奄美市
	25日	ほーらい館運営審議会	ほーらい館		令和4年 6月	6日	議会運営委員会(第2回定例会議事日程等)
	28日	海開き	瀬田海浜公園	7日		令和4年第2回伊仙町議会定例会開会	議事堂

次回の定例会は9月です!

※議会傍聴に関するお願い(新型コロナウイルス感染症対策)

令和4年第3回定例会は、9月6日(火)からを予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、伊仙町議会では議会傍聴について、次のとおり対応いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 密集・密接を避けるため、傍聴を制限させていただく場合があります。
- マスク着用(※各自で持参)を願います。
- 手洗い、手指の消毒を徹底してください。(傍聴席入口に消毒液があります。)
- 咳エチケット、間隔を空けての着席にご協力ください。



※当日、熱(37.5度以上)のある場合や、体調不良(だるい、咳が出る等)の場合は傍聴をお控え下さい。

なお、第3回定例会におきましても、「YOU TUBE LIVE」でのライブ中継や録画映像をご覧ください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 電話 86-3111 (内線16番)



編集後記

町民の皆様におかれましては、厳しい残暑の中にあつて、農作業や、屋外での仕事に大変苦慮されていることと拝察いたします。

伊仙町におきましても、新型コロナウイルス感染症が急増傾向にあり、町民の日常生活に大変支障を来していること心を痛めています。

私達伊仙町議会といたしまして、6月議会において、町の経済活性化促進対策と、町民への生活支援に繋げる支援策を早急に講ずる様、議会決議で申し入れをしたところでした。その結果、生活応援商品券1人15,000円支給が7月15日の臨時議会で議決され実現いたしました。

激動する世界情勢の中にあつて、今後も、物価高騰による町民の生活は、一層厳しさを増すことが懸念されます。私達議会は町政の「監視とチェック」機能を担っています。今後もしっかりと責務を果たしてまいりますので、叱咤激励をよろしく願いたします。おわりに町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。「公平、無私」!!

(文責 美島 盛秀)

議会広報編集委員会



- 委員長 牧本 和英
- 副委員長 杉山 肇
- 委員 美島 盛秀
- 委員 永田 誠
- 委員 久保 量